

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

従業員(各週1日出勤の非常勤を含む)12人中10人が答えてくれました。

公表 : 令和5年4月24日

事業所名 きらとまなぶ

項目	チェック項目	どちらともいえない/わからない		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	2	人数が多い日は、遊ぶ部屋などを分散し、子どもたちがあまり密集しないように配慮しています。プレルームや、多目的ルーム、勉強部屋などを開放し、それぞれの遊びに応じて部屋を分けて遊んでいます。	異年齢の友だちが混雑していることもあり帰ってくる時間がばらばらです。その際には、おやつと勉強部屋の半分でおやつを食べたり、勉強する児童は療育部屋などを使用したりしながら、その場に応じて、高機応変に部屋を変更しています。そうすることで、子供たちの活動に差支えがないようにしています。
	2 職員の配置数は適切である	9	2	配置基準はシフトを組む際にしっかりと調整しています。なるべく資格者を採用しますが、資格者ではない方にも、研修に行ってもよい必要な資格を取って願っています。	配置基準は満たしていても、子ども達のその日の様子や変化で入出が必要な場合があります。その際には、声をかけあいながら、同法人の事業所と連携をとりながら対応しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	3	各部屋の入口には、一目で分かるように部屋の名前を書いています。一つ一つの物にもひらがなで名前を貼り、物の名前の理屈が深まるように配慮しています。	玄関にはどうしても構造上段差があったり、各部屋のところにドアがついているところもあります。保護者様に指摘があった際には部分カバーを付たりしながら対応しています。保護用のシートなどははっても別のところで手をはさんだりしてしまうこともあります。部屋になりませんが、対応させていただきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10		現在も全部の棚や手すりなどよく傷めるものには、大阪府の基準の温度のアルコールで消毒しています。うがいなどもするので、手洗い場や洗面台なども消毒を毎日行っています。空気清浄機は加湿器付きで、各部屋においています。除菌用のディフューザーを数滴入れて、冬など乾燥時期には加湿をして空気をきれいにしていきます。	子どもたちが帰った後は、毎日掃除機をかけ床を消毒シートで敷いています。おもちゃや履物も消毒を行っています。子ども達がいる時はサーキュレーターをつけ常に空気が循環するように注意しています。夏や冬以外は常に窓を開けて換気しています。クーラーや暖房が必要な時は、時間をみて換気しています。拭く場所がたくさんあるので、ぬけないように気を付けていたと思います。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	9	3	職員会議などで、子ども達に対する関わりや、職員体制で変更があった時の話し合いをしています	職員会議を行った際に、記録を付けていないことがあったり、退社後出勤の非常勤職員に伝えきれていないことがありました。そのことを踏まえ、連絡ノートを作成し、前日の様子を記録し、共有していましたが、最近では抜け落ちることもありましたので、再度確認を注意していきたいと思っています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	3	保護者の方の評価を改善点などを話し合っています。	上記と一緒に全体での職員会議を行う中で、保護者の意見等も一緒に考えていきたいと考えています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	6	ホームページが開設されていますので、そこで公開しています。公開される際にはお手紙にてお知らせしています。	ホームページが開設されましたので、事業所向けと保護者向け自己評価アンケートを掲載していきます。ホームページが見れない方にはお手紙などの対応もしています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	8	第三者に業務の相談などを行い改善につなげています。	第三者の評価を聞きながら改善に努めていますが、反映が来ていないところも多いので再度、話し合いながら、改善に努めていきたいと思っています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	3	事業所連絡会を退会したこともあり、必要な実習を1人、研修を行っています。これからも、必要性のある研修には参加したいと思っています。	今年度はSNS研修に参加したり、子どもたちの未来が楽しくなるような研修に参加しています。これからも、時代に合ったことに選んでいる研修にも参加していきたいと思っています。さらに、虐待防止の研修なども必須研修にも参加していきたいと思っています。

	チェック項目	どちらともいえない/わからない		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	いいえ		
適切な支援の提供	10. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	3	職員同士で話し合い、ニーズ整理を行っています。様々な資格を持っている職員が在籍していますので、色んな目線からのアドバイスを元に作成しています。	昨年度と同じ層からの非常勤職員にも参加してもらえよう今後考えていきたいと思っています。午後からの職員も送迎であったことなどを逐一報告してくれていますので、上記と同じく種痘宿を大事に作成していきたいと思っています。
	11. 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	4		アセスメントツールは使っていませんが、毎日の業務日報には日々の課題などを載せて評価しています。
	12. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	4	ガイドラインを元に作成をしています。	ガイドラインにそりながら作成させていただいています。しかし、保護者の方には細かくご説明ができていないところもありますので、分かりやすい個別支援計画を作成していきたいと思っています。
	13. 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	1	個別支援計画の中で必要な目標を毎日の業務日報に載せて、業務が終わってから評価をしています。職員全体が見やすく分かりやすいようにしています。	個別支援計画を完全には全体で周知できていない事がありますので、いつでも確認が出来る環境を作ったり、説明が出来る場面を増やしていきたいと考えています。
	14. 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	2	担当制にしましたが、新しい職員も増えたので、再度色んな職員と話し合っていきたいと思っています。	活動がある日のぎりぎりで立案作成になる事もありますので、1週間前には話し合せて作成が出来るようにしていきます。
	15. 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1	子どもたちは毎年度大きく成長していきます。さらに新しい子ども達も増えてきてくれたりと、いろんな友だちがいますので、その子どもたち全員が楽しく過ごせるように活動を考えられています。	子どもたちの様子に合わせて、活動を考えたことで楽しんでくれる時間が増えていきます。自立課題など必要な取り組みは行ったうえで、楽しみながら学べる活動を目標としています。
	16. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	4	個別活動の時の様子、集団活動の様子などを職員同士で聞き取りながら作成しています。	色んな職員に聞き取りをしながら、作成するよう心がけています。
	17. 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	2	朝に打ち合わせをしています。	活動プログラムがある日などには、お昼から来られる職員に、当日に伝えてしまっている事もありますので、立案などを早めに作成し、当日に再度伝えられるようにしていきたいです。
	18. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	4	業務日報に子どもの様子を書く欄を付けていますので、必ず打ち合わせ(明日はこうしてみようなど)しながら話し合っています。	話し合った結果をその日の業務日報に載せていきましたが、最近では抜けていることもありしますので、再度どういう風な仕方がやりやすいかなどを話し合っていきたいと思っています。
	19. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の振り返りにつなげている	7	3	上記記載。記録を業務日報に載せています。	上記と同じ対応です。
20. 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	2	毎日子ども達の変化を話し合ったり、送迎時に保護者の方と話し合っていますので、都度モニタリングになっていると思います。	モニタリング結果を業務日報に記載することで、全体で周知するようになっています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ わからない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
児童発達支援センター等の連携関係や保護者との連携関係や保護者との連携関係や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	8		2	同じ職員になってしまう事がありますが、子どもの状況に精通した職員が参加するようにしています。	会議前に子どもの状況を確認する職員に限りもありますので、色々な職員に聞くこともしていきたいと思っています。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		6	コロナ禍もあり中々お会いするのは難しく、電話でのやり取りを中心に行っていました。	コロナも落ちついてきたこともあり、担当者会議などにも参加しています。子どもたちの様子も実際に保育園や児童発達支援センターなどにも見に行かせていただいています。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	x	x	x	医療ケアのお子さまは現在利用していません。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	x	x	x	医療ケアのお子さまは現在利用していません。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		6	昨年度はコロナ禍もあり、保育所等には行けない状況にありました。	お伺いできない時にお電話などで対応し共有していきたいと思っています。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学校等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3		7	昨年度はコロナ禍もあり控えさせていただきました。	保護者の方には引継ぎなど出来る事は伝えています。現在、そういったケースはありませんが、相談支援がついているご家庭は支援会議を行っている事もあります。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		6	そのお子さまが通われている児童発達支援センターや事業所には様子をお聞きしますが、コロナにより昨年度は控えさせていただきました。	直接お伺いできない時は、電話での引き継ぎなどを行っていきたく思います。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1		7	2 コロナ禍で出来ない状況にありましたが、落ち遅れて生きていますので、考えていきたく思います。	コロナが落ちついてきましたので、改めて地域と関わる機会を設けていきたいと思っています。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3		6	1 コロナ禍の影響もあり参加できていません。	コロナが落ちついてきたのもありますので、関わる機会を作っていくにはどうするかなどを考えたいと思います。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		2	送迎は保護者の方にお願していますので、その時にお家での様子や最近の悩みなどを直接聞き取りが出来ています。	直接お話が出来ない時でも、送迎時に保護者さまの様子がいづれと違う時は連絡帳でお話し、電話をして対応しています。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	6		4	同法人の相談室が主催の保護者研修を行ったり、事業所でも専門の方をお呼びして研修を行ったりしています。	コロナも落ちついてきましたので、色々な研修を行いたいのと、未就学のお子さま向けの研修や相談室の提供なども考えていきたいと思っています。

	チェック項目	はい	どちらともいえない／わからない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への担負軽減等	02 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		2	契約時に説明するよう心がけています。	今のところ、分からない等の問い合わせはありませんが、相談があった際には迅速に対応を心がけます。	
	03 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		3	職員に様子を聞き取りながら作成しています。	ガイドラインに沿いながら、子ども達の課題も踏まえて作成しています。	
	04 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		3	洗濯時に毎度、様子を聞き取りしています。その時に出た悩みや相談は、すぐに返せるときはその場で返し、難しい時は、職員にも相談しながら、お返事を返しています。	児童発達支援に専門的な職員が少ないので、研修をしながら質を高めていきたいと思っています。	
	05 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1		7	2	コロナ禍により保護者会は行えませんでした。少しずつ差も出てきましたので、再度考えていきたいと思っています。	お父さんの会がないので、今後お父さんの会も作っていきたくと思っています。
	06 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		3	相談があったその日に、職員全体で話し合い、解決が出来るように取り進んでいます。すぐに、保護者の方にお返事が出来るようにしています。	お返事が遅くなってしまいう事が無いよう心がけていきたいと思っています。	
	07 定期的に会報等を実施し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		4	1	ホームページに活動内容を載せています。	より子ども達が保護者の方に興味を持って頂けるように、ブログの更新を積極的に行うよう心がけたと思います。最近投稿できていないので、話し合って改善したいと思っています。
	08 個人情報の取扱いに十分注意している	9		1	全体会議などで写真の取り扱いなどは注意するよう伝えていきます。	今後も気を付けてまいります。	
	09 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		2	保護者の方やお子さまに合わせて対応しています。ひらがなやルビを打ってお手紙を作成したりしています。	連絡事項やお知らせなどのお手紙を、漢字が難しい保護者の方などにはひらがなで作成したり口頭でゆくり説明したり対応しています。	
	10 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3		6	1	昨年度はコロナ禍により呼びびが難しい状況にありました。	コロナが落ち着きましたら、地域の方を招待するイベントなどは今後考えていく予定です。

	チェック項目	はい	どちらともいえない／わからない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常災害の対応	41 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	3		マニュアルは契約時にお渡ししていますので、ご確認ください。と思っています。	色々なマニュアルが徐々にできていますので、配布を考えています。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	3		年に2～3回避難訓練を子ども達と行っています。コロナ禍により昨年度は消防士の方をお呼びするのが難しくなりましたが、毎年度消火器の使い方など実際に訓練する時間を取っています。さらに、救命救急の研修も職員で行っています。	近くの避難所へ逃げる訓練も行っていましたが、コロナ禍で今年度は行いませんでした。4月からコロナ感染が落ち着いた頃合いを見て、再度、消防訓練、近くの避難所へ逃げる訓練を行いたいと思います。
	43 事前に、服装や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握している	9	1		契約時にしっかり聞き取りを行い、面談時に様子などを再確認しています。	てんかん発作やけいれん等の対応、救急対応等をスムーズに対応できるよう、毎年度研修を行ってまいりたいと思います。コロナが落ち着いてから随時行っていきます。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	3		契約の際に保護者の方に確認しています。原材料で不安なときは事前に連絡し確認してから食べるようにしています。	診断書の提出までは出来ていませんが、アレルギーの開き取りを常にしながら、対応しています。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	2		ヒヤリハットが出た時は、書類を添え職員が見えるようにしています。	職員全体に周知できていないところもありますので、対策を考え改善していきたいです。ホワイトボードにはことごとく、周知してもらえようにはしていますが、見れていない職員もいますので、再度話し合いたいと思います。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	3		毎年度、虐待防止の研修に参加しています。	研修した際は直ぐに伝達研修が出来るようにしたいです。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	4		契約の際に事前に署名を頂いています。止むおえず拘束等を行った際は直ぐに電話で状況などを連絡するようにしています。	今後も何かあった際は必ずお電話などで直接ご報告させて頂きます。
その他・意見等					特になし	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。 ※無回答はそのままで、数に入れていません。